

19京大施環化第239号
令和2年3月27日

原子力規制委員会 殿

国立大学法人 京都大学
京都大学学長 山極 壽一

京都大学複合原子力科学研究所の原子炉施設
[京都大学研究用原子炉（KUR）]に係る
使用前検査申請書記載事項の変更届

（標準燃料要素及び特殊燃料要素の製作）

平成26年5月14日付け26京大施環化第41号をもって申請し、平成26年10月27日付け26京大施環化第176号及び平成30年4月27日付け30京大施環化第42号をもって変更届を届けた使用前検査申請書の記載事項の一部を下記の通り変更したいので、試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則第3条の3第2項の規定に基づき届け出ます。

記

1. 変更の内容

申請書記載事項の「3. 工事工程表」の別紙1及び申請書記載事項の「4. 検査を受けようとする事項、期日及び場所」の別紙2及び申請書記載事項の「6. 最大使用熱出力に到達させるまでの期間の熱出力の増加の計画」の別紙3及び申請書記載事項の「7. 申請に係る原子炉施設の使用の開始の予定時期」の記載を次のとおり変更する。

別紙 2

検査を受けようとする事項、期日及び場所

事項						
承認番号	24 受学文科科第 3586 号	承認申請番号	24 京大施環安二第 61 号	補正申請番号	——	
承認年月日	平成 24 年 8 月 21 日	承認申請年月日	平成 24 年 7 月 27 日	補正申請年月日	——	
検査申請番号	26 京大施環化第 41 号	記載事項変更届	26 京大施環化第 176 号	30 京大施環化第 42 号		
検査申請年月日	平成 26 年 5 月 14 日	変更年月日	平成 26 年 10 月 27 日	平成 30 年 4 月 27 日		
件名	標準燃料要素及び特殊燃料要素の製作					
検査対象	検査項目		期日	場所		
原子炉本体	標準燃料要素及び特殊燃料要素の製作	素材	ウラン地金	材料検査(濃縮度)	令和 2 年 5 月 ~ 7 月	大阪府泉南郡熊取町朝代西 2 丁目 1010 番地 京都大学複合原子力科学研究所
			アルミニウム粉末	材料検査(化学的組成、粒径測定)		
			ウランシリサイド粉末	材料検査(Si 濃度、結晶構造、化学的組成、粒径測定)		
			ウランシリサイド・コンパクト	U-235 含有量検査(ウラン密度検査含む)		
			被覆材及び額縁材用アルミニウム合金	材料検査(化学的組成、機械的性質)		
			構成部材用アルミニウム合金	材料検査(化学的組成、機械的性質)		
	燃料板	プリスタ検査				
		超音波探傷検査				
		放射線透過検査				
		ウラン分布検査				
		寸法検査				
		外観検査				
		被覆材厚さ検査				
	燃料要素	引張検査				
		U-235 含有量検査				
		外観検査				
		寸法検査				
		溶接部強度検査				
		性能検査				

*新規規制基準適合確認として平成 29 年 6 月 12 日付けで承認された KUR 設工認その 4 (原規規発第 1706123 号)において燃料要素の耐震性に関する再評価を実施しており、耐震性に関するバックフィットのための設工認の変更申請は必要がないことについて平成 30 年 11 月 30 日の面談で確認済み

別紙 3

最大使用熱出力に到達させるまでの期間の熱出力の増加の計画

		年		令和2年			
項目		月		5月～7月			
熱出力	5000kW					5000kW	△検査
	20W		20W				
	0W			△検査			

2. 変更の理由

検査を受けようとする期日について、その後の工程調整に伴い、変更が必要になったため。